

SHIRAKOBATO

しらこぼと



2001. 3

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 203

日本野鳥の会 埼玉県支部

「総合的な学習の時間」をサポートしよう

山部 直喜 (三郷市)

新年号 (201号) で中島支部長は、「小中学校からの総合的な学習の時間 (以下「総合的～」) 関連の指導依頼には全会員の協力で対応しよう」と訴えています。そこで今月号は、みなさんが「総合的～」をサポートする際の参考にさせていただくべく、私が多くの失敗の中から学んだことを提供します。あわせて、『これならできる!! (135号)』『人材バンクに登録しよう (186号)』にも目を通せば、より役に立ちます。

1 「総合的～」って何?

一言でいえば「生きる力」を育成する時間です。そして「生きる力」とは、

- ① 自ら課題を見付け、自ら学び自ら考え、問題を解決する力など
- ② 情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方など
- ③ 自分の考えや意見を持つ、自分の良さに気付く、自分に責任を持つ
- ④ 自分の生き方に責任を持つ

とされています。私はこの①に、戦後、「MADE IN JAPAN」を高品質、高性能の代名詞とならしめたQC (クオリティ・コントロール) 運動を見る思いがします。

そして、例えば下記の課題を解決していくことを通じて、「生きる力」を育成していくことをねらっています。

例1

身近な野鳥たち

- 1 「鳥」ってどんな動物?、「野鳥」ってどんな鳥?
- 2 奥日光とあなたの学校付近の回りの様子を比べると
- 3 身近な野鳥は?
 - 1) 埼玉県の鳥 シラコバト
 - 2) あなたの学校付近で
 - 3) 冬のそうか公園で
 - 4) 教科書の中で
- 4 野鳥と仲よく
 - 1) 餌台を作ろう
 - 2) 巣箱をかけよう
 - 3) 飛べない鳥を拾ったら
- 5 なぜ、野鳥を見るんだろう

- ① 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの課題

- ② 児童生徒の興味関心に基づく課題

- ③ 地域や学校に応じた課題

- ④ ①、②、③が重なった課題など

だから、教科書もテストもなし、入試の問題になることもない、数字での評価もなし、それを専門とする教師もいません。

2 サポートの打ち合わせはしっかりと

私の失敗の原因は打ち合わせ不足につきます。結果は喋り過ぎ、教え過ぎ、的外れです。

あなたが学校で話したいことと学校があなたに求めていることは一致していない場合が多いのです。私たちは情報の提供に徹し、学校の意図を尊重すべきと考えます。

しかし、学校側にその意図があったとして

例2

野鳥から見た越谷

- 1 「鳥」ってどんな動物?、「野鳥」ってどんな鳥?
- 2 野鳥にとってすみやすいところは?
- 3 「越谷の野鳥リスト」から
 - 1) 隣の市と比べると
 - 2) 越谷だけで考えると
 - ・ 1年中越谷にいる鳥
 - ・ 夏に越谷へ来る鳥
 - ・ 冬に “ ”
 - 3) 2)の結果から野鳥にとっての越谷とは?
- 4 この頃、越谷の野鳥で気になること
 - 1) 夏に越谷へ来る鳥が …
 - 2) 冬に “ ” …
 - 3) 1年中越谷にいる鳥が…

も、あなたへ依頼する際は「野鳥のことを話して下さい」程度のことが多いのです。

そこで、その依頼内容が前述の課題のどこから出てきているのかをしっかりと把握しておくことが重要です。私の経験では、③から自分の住む地域を知る一つの切り口として、あるいは、①の環境を考える一つの切り口としての場合が多いようです。

そして、「生きる力」の①に十分注意してください。いくら野鳥と環境について話しを依頼されても、環境問題の解決策まで教えては「生きる力」の育成にはなりません。あなたの話しの中から、子供自らが課題を見付け、それを追及し、解決策を考え、自分にできる行動に移していくことが重要だからです。

3 実践例を紹介します

まず例1、これは奥日光の林間学校の際、野鳥に興味を持った20人ほどの子供が相手でした。そのときのレジュメです。学校の意図は課題②と③、話しの中心は2と3でした。

1…羽毛を見せ、鳥だけが羽毛をもつ動物であることを説明。2…環境の違いに気付かせ3につなぐ。シラコバトをビデオ『野鳥百景⑦』で、ドバトとキジバトはスライドで見せ、声も『日本野鳥大鑑鳴き声333』からMDにダビングしておく。その学校には2回程足を運び鳥の様子を把握しておく。ムクドリが柿を食べていたことなどを話す。いた鳥のスライドを用意しておく。近くのベスト探鳥地も紹介。教科書に出てくる野鳥をスライドと声で紹介。4…スライドと実物、巣立ちピナの誘拐。5…自分の体験から。

例2は、学校の意図は課題①と③、話しの中心は3と4、相手は5年生約100人です。

1…例1と同じ。2…その環境を考える。3…浦和市より記録種が少ないわけを考える。リストから留鳥、夏鳥、冬鳥の数を比較し、野鳥にとっての越谷を考える。4…夏鳥が減ってきたわけを、越冬地の環境の変化もからめて考える。冬鳥は増もあり減もある。留鳥のシラコバトが減っていることを知らせる。カラスが増えているわけを2とからめて考える。ビデオ、スライドの利用。

例3

そうか公園 冬の水鳥たち

自分で考えた名前

() []

- みは、^こ濃い^{みどり}緑色の頭、^{むね}白い胸、^{わきばら}茶色の脇腹
- くちばしが大きく、しやもじの形をしている。



例3は、少数の子供の鳥見を依頼された時に用意したものです。学校の意図は「とにかく体験させたい」でした。下見をし、数種類のカモの雄に絞り、場所によってその種類を替えています。

まず教室でチェック項目に従って色ぬりです。そのとき自分で考えた名前をつけさせると喜びます。ぬったら現地へ行きます。見るポイントはすでに押さえているので興味を持って探します。同定できたら名前を知らせ、その場でぬり残しを仕上げます。

4 つけ足し & 留意していること

- ・ 各学校では、「総合的～」とよばず、○ ○時間、△△タイムなどとよんでいます。
- ・ 「総合的～」をサポートする人は、ゲストティーチャー、コミュニティーゲスト、□□ボランティアなどとよばれます。
- ・ 授業時間帯の関係上、退職した方や専業主婦の方々に活動してほしいと思います。
- ・ スライドは支部のものを編集部が預かっています。貸し出しもできます。
- ・ 私のことを「先生」とよばないようにお願いしています。
- ・ 質問されたり相談されれば自分の経験は話しますが、それを初めから教えたり、この方法だと目標を達せられるとか認められるなどとは言わないようにしています。
- ・ 与えられた時間は厳守です。

シマアカモズ 幼羽から第1回冬羽に
海老原美夫（浦和市）

場所は、戸田市彩湖の西岸北部、浦和市との境界に近い、かつてシベリアジュリンとコホオアカを県内で最初に記録したあたりです。2000年10月末ごろから、鳥見人の間で、何かわからないモズがいるという情報が伝わり始めました。



私が最初に観察撮影できたのは、11月3日。下面が白くてうろこ模様が顕著。上面は頭から背中、尾羽まで一様な赤褐色。

様々な意見が飛び交う中で、私としてはこの時点では、眉斑が太く明瞭ではないのが気になるものの、種アカモズの亜種アカモズ *Lanius cristatus superciliosus* の幼羽と判断して、第1回冬羽に換羽する経過を継続観察することとしました。



11月19日には、気になっていた眉斑はやや明瞭になってきましたが、腹部に色がつきはじめて、新たな疑問点になりました。

このころになると情報が行き渡り、土曜日曜ともなると、連日数十名が集まる騒ぎです。

その後、思ったほど眉斑ははっきりしない

まま過ぎる一方で、腹部は更に赤褐色に換羽が進み、12月初めころには、頭部が灰色に変わり始め、この時点で、種アカモズの範囲内ではあるけれども、別の亜種シマアカモズ *L. c. lusionensis* と、判断を訂正しました。



最後に観察できたのはこの写真、年が明けた2001年1月7日。

このころになると、2カ月前に比べてすっかり変化し、継続観察していなかったら、同一個体とは信じられなかったでしょう。今度は逆に、腹部の赤褐色が強すぎるような疑問が残りますが、シマアカモズと考えるのが最も妥当だろうという判断は続きました。

翌8日に大雪が降り、心配していた通り、9日にそれらしい鳥影が遠くに飛び去るのを目撃した人がいるのを最後に、まったく見られなくなりました。鳥仲間たちと、写真を見せ合いながら、いなくなった我が子を語るように話し合ったものです。

シマアカモズは、旅鳥または冬鳥として南西諸島に飛来し、九州南部では繁殖例もあります。

埼玉県では、種の段階でのアカモズの記録はあります。亜種の段階での記録はないので、断定はできませんが、亜種シマアカモズは、最初の記録ではないかと思われます。

なお、図鑑によっては、亜種カラアカモズや亜種ウスアカモズを掲載しているものもありますが、日本鳥学会の鳥類目録改訂第6版に記録されているアカモズの亜種は、アカモズとシマアカモズの2亜種だけで、ほかに、カラアカモズが、付属の「スズメ目分類上の注解」に、「観察報告はあるが、確証はない」と記載されています。



浦和市秋ヶ瀬 ◇11月24日、大久保農耕地B区でオオタカ1羽。12月4日、B区でトビ1羽、ノスリ1羽、オオタカ1羽。チュウヒが舞っていたが、カラスにモビングされ高く上がっていった。子供の森でアカハラ2～3羽が争いつつ水浴び。シロハラも登場。1月11日、B、C区でコチョウゲンボウ♀1羽、電線にとまっていた。ノスリ1羽。また、顔つきはノスリに似ているが、腹の模様はノスリ的でなく、ウロコ模様の変な猛禽1羽（鈴木紀雄）。

浦和山下山口新田芝川第一調節池 ◇12月7日、ユリカモメ、セグロカモメの中にシロカモメ第3回冬羽1羽。アシ原でベニマシコ♂、西側アシ原の木にオオタカ若鳥1羽。12月12日午後3時頃、ユリカモメ100羽以上の中にカモメ2羽。セグロカモメ3羽、12月16日午後2時頃、ホオジロガモ♂第一回冬羽と思われる個体1羽（鈴木紀雄）。

戸田市道満彩湖 ◇12月4日、管理橋南側でアカエリカイツブリ1羽。12月9日、ホオジロガモ♂1羽、北部、風のはらっぱでツリスガラ12羽。ホオアカ1羽、コジュリン1羽、オオジュリン多数（倉林宗太郎）。◇12月6日、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ2羽、ミミカイツブリ1羽、アカエリカイツブリ1羽とカイツブリ類そろいぶみ。12月18日、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、ミコアイサ♀。西側アシ原でベニマシコ♂若鳥、シマアカ

モズ幼鳥1羽。シマアカモズは、頭がかなり灰色味を増してきた（鈴木紀雄）。◇12月20日、北側アシ原でオオジュリン♂。コジュリン、ツリスガラ♀♀各1羽。彩湖でハイロカイツブリ、カンムリカイツブリ、ミコアイサ♀（陶山和良）。◇12月27日、幸魂大橋の橋脚上でハヤブサ♀♀食事中。ノスリ1羽。1月2日、オオタカ1羽がハヤブサの番いに追われて逃げていった。北部でチョウゲンボウ、ノスリ各1羽。1月6日、釣堀りの前辺りでトモエガモ♂19羽♀14羽（倉林宗太郎）。

大宮市大谷 ◇12月7日午前8時30分頃、環境広場でクサシギ2羽、イカルチドリ7羽、タヒバリ。12月11日、イカルチドリ7羽、タシギ20羽が草地の中や水たまりで休息したり採餌（鈴木紀雄）。

大宮市花の丘公園 ◇1月13日、アオバト1羽。公園横西の林から公園の溝に向かって飛び込み、しばらく遊んでいた（高尅滋・文子）。

蓮田市黒浜沼周辺 ◇12月5日午前8時頃、道脇の草むらを20cm位の鳥がガソゴソ歩くが種類不明。シメ5羽、ベニマシコの声。タシギが上空を飛び回っていた。12月13日、ゴルフ場の森でカラ類混群中にコガラ、ヒガラも。マヒワ5羽も一緒に行動。黒浜療養所の林でマヒワ♀1羽。12月19日、黒浜療養所の林でオオタカ若鳥1羽、カラスに追われて林内に飛び込んだ（鈴木紀雄）。◇12月25日、黒浜沼と元荒川の間の田んぼでタゲリ10羽、11月初旬頃より来ていたが5～6羽程しか確認していなかった（道祖土修一）。◇1月9日午前8時～9時30分、セグロカモメが魚の死体をついばんでいた。タゲリ1羽、アシ原でセッカ、オオジュリン、アオジ。クイナ1羽、ベニマシコ♂1羽。コジュケイが茂みからアシ原に3羽、次々に飛び降りた。上沼北側のアシ原内の灌木でアリスイ1羽。午後2時過ぎ、黒浜療養所裏手の林でマヒワ約30羽、一本のヒノキの実を集団で食べていた。1月10日、アカゲラ1羽、ベニマシコ♂♀。1月11日、黒浜療養所裏手でルリビタキ♀1羽、シロ



ミコアイサ（藤原育実：小3）

ハラ1羽、カケス10羽（鈴木紀雄）。

岩槻市加倉5丁目 ◇12月6日、自宅の庭でウグイス3羽。12月8日、自宅上空をアオサギ2回通過。1月13日午前9時、自宅東側の用水路でカワセミ1羽。家族みんなで確認（藤原真理）。

岩槻市文化公園 ◇1月10日、アカゲラ♀1羽。アカハラ1羽、いつものマユミの実を食べていた。南縁、川沿いの木でオオタカ若鳥1羽。コサギの両足部分をもって飛び立ち、カラスに追われていた。上空でミコアイサ4羽、元荒川上流へ飛翔（鈴木紀雄）。

寄居町折立 ◇11月22日午前8時30分頃、東向きの斜面林でイカルの地鳴きとさえずり。シメ2羽（藤原寛治）。

嵐山町 ◇12月9日、菅谷館～槻川橋間でアカハラ1羽、ヤマセミ1羽、ノスリ1羽、カケス3羽。シメ、カシラダカ、ツグミ等今年は数が少ないのか、あまり目につかない（後藤康夫）。◇12月23日、同所でクイナ1羽、クサシギ1羽、ヤマセミ1羽、カワセミ5～6羽、ノスリ1羽。イカル、シメ数羽（後藤康夫他2名）。

川本町荒川 ◇12月28日、コハクチョウ110羽、ホオジロガモ♀7羽。オオタカ1羽、川の中の岩の上でオナガガモ♂を捕獲。オナガガモはあきらめたのか、頭を上げたまま抵抗せず。オオタカは一度大きく羽ばたく。カラスの大群が周囲へ群がっていた。ノスリがカラス約20羽に追われ、雑木林の中に逃げ込んだ（陶山和良・順子、岩井義雄、星野政一）。

川本町農林公園 ◇12月28日、芳沼でエナガ、シジュウカラ、メジロ、オカヨシガモ、マガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ他（陶山和良・順子、岩井義雄、星野政一）。



カワウ（外園たけの）

坂戸市入西調整池 ◇1月13日、アメリカコガモ♂1羽、ヨシガモ♂♀各3羽、ミコアイサ♂♀、オカヨシガモ他カモ類全部で11種。イソシギ1羽、クサシギ1羽、セッカ1羽、カワセミ（後藤康夫）。

渡良瀬遊水地 ◇1月13日、カワアイサ♂4羽♀1羽、ミコアイサ♂♀それぞれ約20羽、ヨシガモ。ミヤマガラス3羽がハシボソガラス10羽の中に混じっていた。ノスリ2羽以上、ミサゴ2羽、ハイイロチュウヒ♀1羽。午後4時過ぎ、コチョウゲンボウ2羽以上。マガン約40羽がカギ型となって「ガハン」と鳴きつつ飛び回っていた。1月18日、ホオジロガモ♂1羽、アメリカヒドリ♂1羽。罫入りのチュウヒ約15羽乱舞。ハイイロチュウヒ♂3羽♀1羽（鈴木紀雄）。

北川辺町柏戸 ◇1月14日午後2時頃、田んぼでマガン約150羽。探鳥会でも谷中湖でマガン約150羽の群れを確認したが、同一群かどうかは不明（高剋滌・文子、玉井正晴、橋口長和）。

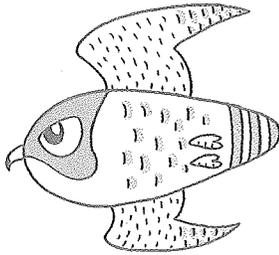
北川辺町柳生駅付近 ◇1月21日、柳生駅南側の田んぼでミヤマガラス約100羽（島田沙織里とその父）。

表紙の写真

ハイイロチュウヒ（ワシタカ目ワシタカ科チュウヒ属）

撮影：島田恵司 ヨーロッパやアジア北部に分布。日本には冬鳥として10月ごろに飛来し、3月ごろまで、平地の湿原、湖沼岸辺の葦原に生息する。渡良瀬遊水地のハイイロチュウヒはよく知られていて、毎年楽しみにしている人が多い。主にねぐら入りする前の夕方、葦原の上空を飛ぶ。ノネズミ、モグラ、ノウサギなどの哺乳類と、ヒバリ、カモ、シギ、チドリなどの鳥も捕食する。解説：編集部

行事あんない



(何森 要)

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月4日(日)

集合：午前9時10分、寄居駅南口駅前広場。

交通：秩父鉄道熊谷8:34発、または東武東上線川越8:01発にて、小川町乗り換えで寄居行きに乗車。

担当：小池(一)、林(滋)、小淵、井上、堀(敏)、堀(久)、松本

見どころ：ウメが咲き、サクラのつぼみもほころぶ季節。荒川周辺をゆっくりと歩きながら小さな春を探しましょう。玉淀河原のカワセミくんがお出迎えしてくれるかも。河原を歩ける靴でご参加ください。

大宮市・染谷見沼自然公園探鳥会

期日：3月4日(日)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場(浦和さぎ山公園南西隣)

担当：工藤、兼元、森(力)、吉岡(洋)、日根、山口、松村、百瀬、渡辺(嘉)

見どころ：梅の花も満開、木々の表情も和らぎ見沼たんぼにも春が訪れ初めました。そんな中を渡り前の冬鳥達をさがして歩きます。昔懐かしい風景の見沼たんぼの探鳥会にお出かけ下さい。

加須市・はなさき水上公園探鳥会

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

期日：3月4日(日)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花咲駅南口、または午前9時はなさき水上公園駐車場。

交通：JR宇都宮線大宮8:01→久喜8:22着にて、東武伊勢崎線春日部8:14→久喜8:28発に乗車、花崎8:39着。

解散：午前11時30分ごろの予定。

担当：中里、玉井、田中、田村、長嶋、宮下
見どころ：新しい探鳥地です。短い距離をゆっくりと歩いて、冬の鳥たちとの出会いを楽しみましょう。私達の身近なところには何種類ぐらいの鳥がいるのでしょうか。はじめてバードウォッチングを始める方大歓迎です。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月11日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車。

担当：和田、森本、中里、石井(博)、倉崎、松本、高橋、後藤、藤田

見どころ：うれしい春になりましたが、明戸堰のコハクチョウともお別れです。冬鳥、夏鳥の入れ替えもそろそろ始まります。土手の草花と一緒に、行く鳥を見送ってあげましょう。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月11日(日)

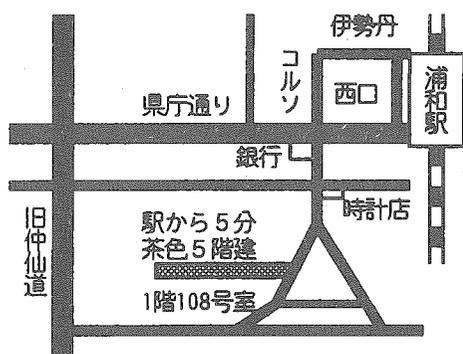
集合：午前10時、松伏記念公園入り口広場。
交通：東武伊勢崎線北越谷下車、東口①番バス乗り場から9：38発エローラ行きにて「松伏高校前」下車。

担当：橋口、大塚、神場、小菅、下川、田邊、本田

見どころ：シラコバトが通年観察できる場所です。たんぼの中に作られた都市公園でもカモが来てくれ、冬の小鳥も結構楽しめます。

「しらこぼと」袋つめの会

とき：3月17日（土）午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局108号室
案内：最も早く『しらこぼと』が読めて、時々最新の野鳥情報も聞けて、力作ビデオの鑑賞も、発表もできるんです。



坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月18日（日）
集合：午前9時、東武越生線川角駅前。
交通：東武東上線川越8：24→坂戸にて越生線乗り換え8：43発。または寄居7：26→小川町乗り継ぎ、坂戸にて越生線乗り換え。JR川越線大宮7：55→川越にて東武東上線乗り換え。

担当：藤掛、高草木、石井（幸）、青山、久保田、志村、増尾、佐藤（壮）、吉田、林（久）、池永

見どころ：3月はカヌーやバーベキューの人たちもなく、静かに観察ができます。首都圏の探鳥地100個所の詳細ガイド「探鳥地図館」にも紹介されている素

晴らしいコースです。一度ご参加ください。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：3月18日（日）
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、倉林、渡辺（周）、笠原、若林、兼元、森（力）、清水、小菅

見どころ：見沼田圃にも春がやってきました。花々が今年も咲き始めました。鳥たちはどうでしょうか。それを確かめに、また、鳥仲間にも会うために、どうぞお出かけください。

長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月18日（日）
集合：午前9時40分、秩父鉄道長瀨駅前
交通：秩父鉄道熊谷8：34発、または西武鉄道所沢7：44発にて秩父鉄道乗り入れ。
担当：小池、佐久間、青山、林（滋）、井上、堀（敏）、堀（久）、堀口、小野沢
見どころ：春はどこまできているでしょうか？山道のタンポポやスマイルは咲いたかな。新芽を食べにウソやマヒワなど野鳥たちは来てるかな。ちょっとした発見と感動が今年もあるかもしれません。2時間の軽ハイキングができる準備でご参加ください。

秩父市・羊山公園探鳥会

期日：3月20日（火・祝）
集合：午前9時45分、西武鉄道西武秩父駅前。
交通：秩父鉄道熊谷8：17→御花畑9：24下車、徒歩約5分で西武秩父駅前に。または西武鉄道所沢8：07発快速急行にて9：26着。現地集合の方は、公園入り口近くの大駐車場。
担当：海老原、佐久間、福井、青山、宮崎
見どころ：当りはずれの大きい探鳥地です。当りの時は、例の赤い鳥や青い鳥が

期待できます。はずれの時は、静かな
山道散歩と、シジュウカラの声、杉花
粉でも楽しみましょうか。

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月24日（土）

集合：午前9時20分、東武日光駅前。

交通：東武伊勢崎線春日部7：53発「快速」
日光行にて9：12着。

解散：午後2時ころ、東照宮にて。

担当：福井、玉井

見どころ：春が遅い日光はまだ寒い。昨年は
小雪が舞っていました。いつもの神橋
の前から東照宮裏山を川沿いに歩きます。
カワガラス、ミソサザイはこの
定番です。それにアフターは日光見物
で小さな旅が楽しめます。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月25日（日）

集合：午前9時30分、県立さきたま資料館前
レストハウス。

交通：JR高崎線吹上駅北口より、朝日バス
行田車庫（佐間経由）行き8：52発に
て、「産業道路」下車、徒歩約15分。

担当：内藤、岡安、和田、立岩、石井（博）、

松本

見どころ：季節の移りかわりは何事につけて
も趣が深いもの。あと少しで、春満喫
の桜の宴で賑わうさきたまですが、ま
だまだつぼみです。鳥に専念？してど
うぞお出かけください。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月25日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8：42発、所沢8：
36発に乘車。

担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、
中村（祐）、山本（真）、久保田、山本
（義）、石光

見どころ：桜の開花前の稲荷山公園は、人影
も少なくとても静か。小鳥のさえずり
を聞きながらヒメオドリコソウやオオ
イヌノフグリの花見でもしましょう。

◆4月の行事予定

4月1日（日）北本市・石戸宿定例探鳥会
浦和市・民家園周辺定例
探鳥会
北川辺町・渡良瀬遊水地
探鳥会

シラコラム

下記の地点で、シラコバトの生息数調査を行います。経験の有無は問いません。
より多くの会員の参加・ご協力をお願い致します。

松伏町調査

期日：3月11日（日）

集合：午前8時、松伏記念公園入口広場。

交通：東武伊勢崎線北越谷下車、東口①番
バス乗り場からJA松伏行き7：28
発にて終点下車、徒歩5分。

担当：橋口、大塚、神場、小菅、下川、田
邊、本田、玉井、高（剋）、高（文）

内容：松伏記念公園近隣のシラコバト生息
数調査。

行田市調査

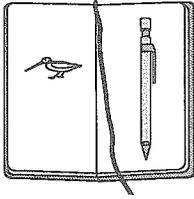
期日：3月17日（土）

集合：午前8時、古代蓮の里公園南側駐車場

交通：集合時間に間に合うバス等がありま
せん。参加希望者は、前日までに橋
口に連絡を下さい。

担当：橋口、玉井、高（剋）、高（文）、田
邊

内容：古代蓮の里近隣のシラコバト生息数
調査。



行事報告

10月1日(日) 北本市 石戸宿

参加: 31人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ コガモ コジュケイ キジ バン キジバト カワセミ コゲラ ショウドウツバメ ツバメ ヒヨドリ モズ シジュウカラ ホオジロ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) 集合場所の駐車場と荒川の河川敷の上空にショウドウツバメの群れが出現した。高尾の池では対岸にカワセミがとまっていた。池のアシ原をよく見るとゴイサギがたくさん居た。池のほとりにはツリフネソウの群落。(岡安征也)

11月26日(日) 大宮市 染谷見沼自然公園

参加: 48人 天気: 晴

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ トビ オオタカ キジ バン キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 初冬の明るい陽ざしの中、開始する。カシラダカも顔を出し、冬鳥たちも順調に出現した。オオタカも上空に何回も現れ、トビも昨年同様姿を見せてくれた。セキレイ類4種出現。見沼自然公園の池のカモは種類も数も少なかったのが残念。(工藤洋三)

12月2日(土) 蓮田市 黒浜沼

参加: 41人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ チュウサギ コサギ カルガモ コガモ オオタカ キジ クイナ バン オオバン タシギ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシ

ラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (41種) 12月とは思えないような穏やかな探鳥日和。黒浜沼上沼、芦原、雑木林と農村風景を楽しみながら鳥を探した。鳥の姿は少なかったが、到来した冬鳥たちは大部分しっかり出現してくれた。珍しい鳥は居ないが、参加人数と同じ41種も見ることができた。(玉井正晴)

12月3日(日) 北本市 石戸宿

参加: 71人 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン キジバト カワセミ アリスイ アオゲラ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (42種) 自然公園に来ているアトリ、ルリビタキなどの冬鳥たちには、出会えずじまいだった。特筆すべきは河川敷で見た鳥たち。サギ類、ワシ・タカ類。釣り糸をたれる人たちのはるか向こうではカワセミが魚を捕って食べていた。(岡安征也)

12月3日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 52人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ハシビロガモ オオタカ チョウゲンボウ キジ バン イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) とても寒い朝のスタート。ツグミ、コー

途中で何度も姿を見せてくれたジョウビタキ、群れで参加者の目を楽ませてもらったオナガなどたくさんの鳥たちに会うことができた。中でも鉄塔に長時間止まり、全員がじっくり観察することができたチョウゲンボウには大満足!! コースが長くなり、皆さんお疲れさま。(伊藤芳晴)

12月10日(日) 岩槻市 岩槻文化公園

参加: 75人 天気: 曇

カイツブリ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ アメリカヒドリ オナガガモ ハシビロガモ コジュケイ バン ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 薄曇りで寒く、出現鳥も少なく、淋しい出だしだった。途中、池ではバン、アシ原ではアオゲラ、元荒川ではアメリカヒドリ(♂)まで出現。全員が時間をかけて見ることができ、大満足の様子だった。25名の一般の参加があり、とてもうれしかった。(中村榮男)

12月17日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 60人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ ミコアイサ トビ オオタカ ノスリ コジュケイ バン キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 12月の中旬とは思えぬ暖かさ。そのせいか鳥影が少ない。西田沼には水がなく、かつてはここで盛り上がったのに淋しいかざりと思うのは私だけだろうか。でも、大沼まで我慢の歩き。その甲斐があった。ヨシガモ、オカヨシガモ、ミコアイサと出てくれ、ぐっと盛り上がった。中央陸橋のところで、オオタカもきれいな翼を見せて舞った。出現鳥38種は普通だが、全種見た人は皆無だろう。ゆっくりたっぷり見たい!! (内藤義雄)

12月17日(日) 浦和市 三室地区

参加: 53人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ オオタカ キジ バン オオバン タシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 20世紀最後の三室の探鳥会は、最後にオオタカが青空をバックに2羽飛んで、ハッピーに終了。カワセミが今日も出現して、オオバンはバンと並んで久しぶりの登場。天気もよく、ゆっくりと歩いての楽しい鳥見だった。お世話になっている博物館の館長さんのご挨拶を戴いて、無事来年へとつなげた。

(楠見邦博)

12月23日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 16人

荒木恒夫、伊藤泰一郎、江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、河辺修造、島田恵司、島田沙織里、島田貴子、志村佐治、藤野富代、増尾隆、松村禎夫、百瀬修、渡辺嘉男

1月3日(水) さぎ山記念公園

参加: 65人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ オオタカ バン タゲリ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 高台からはるかに富士山を望み、オオタカが2羽頭上を舞い、見事な初夢! 過去12年間のこの探鳥会の出現鳥をまとめたリストで鳥合わせ。年々少なくなっているタゲリは、3羽ちらっと飛んただけだが、毎回出現していた20種は、今回もみんな無事にご挨拶。昼頃から、陽だまりで懇親会。歌も出て和気あいあい。ゴミを片付けて、午後3時頃のバスで引き上げるまで続いた。(海老原美夫)

連絡帳

●臨時評議員会開催

1月14日(日)、都内新宿区で臨時評議員会が開催され、埼玉県支部からは、関東ブロック選出評議員の一人として、海老原美夫副支部長が出席しました。



西村専務理事・品田常務理事が退任するにいたった経過と、執行部の対応への批判など、昨年来混乱が続いています。それに対して、理事を選出し、会の運営に意見を述べる立場の全国の評議員が、意見交換などのために集まったものです。

多くの時間は、それまでの経緯の説明などに費やされましたが、理事の選出方法を具体的に変更するなどの前進もありました。

3月に予定されている定例評議員会でも、引き続き、正常化への努力を続けます。

●ガンが大量に南下

本部自然保護センターからの連絡によれば、今冬は東北地方での積雪や凍結が多く、餌を探れなくなったガン類が大量に南下しているとのこと。

1月17日に北川辺町で中島康夫支部長が206羽のマガンを観察したほか、近県も含めて各地でハクチョウ、ミヤマガラス、コクマルガラスなども観察されています。野鳥情報を編集部までお寄せください。

●eメールの連絡網

編集部への送稿と野鳥情報の送り先のメールアドレスは下の欄の通りですが、新たに役員やリーダー間の連絡網として、それぞれのメールアドレスを作りしました。

役員・リーダーでメールアドレスを登録しても良い人は、橋口長和幹事宛て、またはホームページを通じて、下の欄のアドレス宛て、どうかご連絡ください。

●3月の事務局 土曜と日曜の予定

- 3日(土) 編集部・研究部会議。
- 4日(日) シラコバト見つけ隊。
- 10日(土) 4月号校正。
- 17日(土) 袋づめの会。
- 18日(日) 役員会議。

●会員数は

2月1日現在2,867人です。

活動報告

- 1月12日、13日 2月号校正(海老原美夫、大坂幸男、喜多峻次)。
- 1月21日 役員会議(司会:倉林宗太郎、国有林の活用について・干潟を守る日2001への参加・その他)。
- 1月24日 武蔵丘陵森林公園でのカワウに関する報告会に出席(海老原教子、増尾隆)。

編集後記

21世紀はIT、環境問題、生命科学がキーワードとなって明けました。地球上の種の一つにすぎないヒトが、自然界に対してやりたい放題やっていた前世紀。その償いを、数世紀の時間をかけて行わなければならない時代になりました。

まずは、私たちの身近な生活から見直さなければ!
(小荷田行男)

しらこぼと 2001年3月号(第203号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階

(財)日本野鳥の会 会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社